

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 30 年 4 月 17 日	
所属部局・職	霊長類研究所社会生態分科・博士後期課程学生
氏名	石塚真太郎

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
香川県小豆島
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
小豆島のニホンザルにおけるオスの繁殖戦略についての調査
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
平成 30 年 4 月 10 日 ~ 平成 30 年 4 月 14 日 (5 日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
銚子溪 自然動物園 お猿の国
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
今回の調査では、①春以降に生まれた赤ん坊の確認②カメラトラップの設置③島内全域調査であった。①については、生まれていた子の誕生日はほぼ特定することができた。一方で、数頭のメスが調査群から消えていることは誤算であった。②については、とりあえず設置はできた。サルとイノシシの関わりのヒントが得られることを期待している。③については、予想以上に時間がかかり、島の東側半分しか行えなかった。とはいえ、調査した地域では糞採取ができる目処が立った。今後はある程度まとまった期間を確保できる時に、島全域から本格的な試料採取を行いたい。

新生児と母親
6. その他 (特記事項など)
本実習は、PWS リーディング大学院プログラムの支援を受けて遂行できました。PWS プログラム、銚子溪自然動物園お猿の国の皆様に感謝申し上げます。